



現実逃避しろ！

ATG(日本アートシアターギルド)に愛を込めて....

犬

— I N U —

35ミリ劇場用長篇映画
北田直俊 第一回 監督作品

ヴィスタサイズ/白黒・カラー/100分/2002/日本映画/35ミリ/全7巻/企画・脚本・撮影:北田直俊/プロデュース:吉田陽子/製作:中野貴之/音楽:坂本弘道、肉自動車/聲音:鈴木明彦/聲音協力:シネマンブレイン/ネガ編集:フィルム・クラフト、文字康子/リレーコ:日本映画新社/機材協力:イメージ・プロデュース/タイミング:安齊公一/現像:東映ラボ・テック/宣伝協力:シネマ下北沢/制作:KITADA CINEMA/配給:アップライジング/撮影協力:藤井浩治、佐藤英里子、長谷川一夫、府国江/作品協力:宝親文則/劇中挿入歌:火取ゆき/キャスト:クロ、ジョン、小泉重信、井手泉、村井美和子、高倉理紀子、大塚加寿季、大島和夫、グレース、シベリア文太

これって？ 日本映画？

ロック精神を存続するには
絶賛と共鳴は必要としない。
これはそんな映画だ！



●物語 人間という不可思議な生命体に翻弄されさすらいの果てに交通事故に巻き込まれて死んだ一匹のイヌ。彼は悪魔の導きにより、人間を血祭りにあげるために、カカシとして生まれ変わる。その旅の途中、心優しい純朴な少年との出会いにより、少しづつ「生きる苦痛」を克服してゆく。だが、バケモノの姿をした異端は、いつの世にも抹殺される運命にあったのだ！

●北田直俊という男は映画である。この映画でデビューする監督の北田直俊は処女作8ミリ映画が日本映像フェスティバル優秀賞に輝いた。しかし以後、彼は現在まで公の舞台から姿を消し、ひたすら自己探求の道を突き進んだ。彼にとってその道のりは映画との格闘の歴史であり、彼の人生は映画、彼の生活も映画、つまり彼は映画そのものである。その彼が35ミリのデビュー作を、いわば己の力技で我々の前に投げ出す。映画通を自称する諸氏はぜひこの作品を見るべきだ。ただしこの作品は劇業につき、生半可な映画ファンは相当な覚悟を持ってスクリーンに立ち向かわないと終映後、自分を見失うことになりかねないので、ここにご忠告申し上げる次第であります。



口当たりのイイモノが氾濫する”今”
「イヌ」を観た時の居心地悪さは異次元だった。表現力も語り口も極端に雑で、極端に観心地悪い。映画になっていない、と言ってもいい。ただ、ホコロビだらけの画面から、作り手の熱い”志”だけは垣間見える。しかも、35mmでの挑戦とは・・・恐れ知らずメ！
山本政志 (映画監督)

こんな形で権力を撃つ手法もあるのですが。永い年月をかけて、これ程実験的精神を欠かさず、やり続けることは・・・希有な作家のタンジョウだ！
渡辺文樹 (映画監督)

●解説 ジャンルや画質を敢えて多様し、その境界を突破させようとした意欲作であり、非常に実験色の強いカルト映画でもある本作は一匹のイヌのてん末を描いている。登場人物は全員素人であり、主役のイヌを演じたクロも監督の愛犬である。制作費1800万と劇場用長編映画としては低予算の為、スタッフを極限に減らし完成までに7年の歳月を費やした。産業として破たんした日本映画界において北田直俊監督作品「イヌ」のスタイルは一石を投じることになるだろう



●多数派と少数派、そして異端 白黒画面で始まる前半戦。対する後半戦のカラーは完成FILMからネガを作るという仕組みでオリジナルネガが3本存在する。映画の歴史上、誰もやらなかった、この方法で「地獄の楽園にうごめく異端者」の世界を見事に活写し、そのビビットな画は必見である。

●戦いを強いる映画 この映画にはすべてが詰まっている。アクション、パンク、エロ、グロ、優しさ、醜さ、そしてとびきりの詩情！観た者がどのような感想を持つかは自由。全否定するも自由。肯定するも自由。そもそも映画とは自由なものだから。しかしこの映画を肯定する者は戦わなくてはならない。何と？それは肯定した者それぞれが考えることだ。この映画は戦いを強いる映画そのものであるから。



果たして35ミリ劇場用長編映画を、たった一人で完成させることが可能なのか？ 知りたければシネ北まで歩け！
北田直俊 (企画・監督)

2003年9月20日(土)～10月3日(金) 2週間限定レイトショー

*期間中舞台挨拶・イベント有り

特別鑑賞券：1,300円

劇場窓口及びチケットぴあ他にてお求め下さい。

当日 一般：1,500円 / 学生：1,300円

連日 19:20 21:20



ぶらっと寄れる町の映画館

シネマ下北沢 東京都世田谷区北沢 1-45-15 スズナリ横丁2F

TEL:03-5452-1400 <http://www.cinekita.co.jp>

<http://www.nomovie-nolife.com/>

